

1. 日本協会報告

2. B級認定講習会

①各府県のレフリー委員長に講習、認定を任せる？

2月18日(月)の関西協会理事会において「却下」されました。従って例年通りのB級認定講習会となります。(関西協会から講師を派遣します)

- * 確認事項
- ・ 受講生は自己負担or府県協会負担
 - ・ 講師、責任県委員長は関西協会負担
 - ・ 府県委員長(講師)は昨年から関西協会負担。ただし、受講生が少数の場合は自己負担になるor府県協会負担。

②各地区の日程

近畿・中国・四国地区	5月3日(土)～5日(月)	徳島
北陸地区	5月3日(土)～5日(月)	石川
東海地区	6月の予定	

- ### ③受講者名簿を責任府県レフリー委員長に送付し、実施要項・受講者名簿を作成。太田まで送付する。3月31日締め切り、4月の理事会に要項を提出。

3. 天理研修会・A2認定・W1・W2

07年からA2レフリーは三地域協会が認定することになりました。ただ、07年は過渡期でもあり、前年のA2レフリーを認定し新しいA2をプラスした。今回の天理研修は「白紙の状態から出発」します。

* 推薦の際、考慮すること

- ◎A1、A2、W1、W2を指せる資質、意欲があるレフリー
- ◎年齢を考慮する。目安は「A、A1・・・45歳」「A2・・・40歳」「W1、W2・・・年齢制限なし」
- ◎生活環境(仕事内容など)を考慮する

①日程(1泊増やします)

5月2日(金)	19時集合	
3日(土)	AM、PMレフリング	夜、研修会・ミーティング
4日(日)	"	"
5日(月)	AMレフリング	昼、解散

(TJ研修も含める)

第87回 全国高等学校ラグビー大会 総括

審判委員長 太田 始

第88回大会に向けて

1. レフリーの割り付け

- ・一回戦19試合は、関西協会管轄のレフリー
- ・二回戦16試合は、三地域のA2レフリー
(ただし、関東6名・関西6名・九州4名の選抜されたA2レフリー)
- ・三回戦8試合は、アカデミー、A2、A・A1経験者
- ・準々決勝、準決勝、決勝は日本協会指名
(A・A1・A2・ACD・A/A1経験者)

2. 事前研修会の実施

- ・本大会でのレフリー及び京都府、大阪府、兵庫県のタッチジャッジを集めて「事前研修会」を実施する。(できればレフリー全員)

3. 安全対策について

- ・日本協会事故防止委員会の通達に則り、「頭を下げる」プレーに関して、U19プロジェクトチームを中心に競技力向上委員会コーチ部門、レフリー部門、メディカルコミティーの協力の下、全国展開していく必要がある。
 - ・スクラムの組み方について、さらに安全な方法を模索する。
 - ・マウスガードについては、全国大会と同様に各都道府県においても義務化を徹底して指導する。
- ◎特殊な補助具(フェイスガード・サポーター)については、代表者会議等での承認(医務・審判)を義務づける。

4. レフリングに関して

- ・8人で組むスクラムに多少の心配はあったが、レフリーのマネージメントとプレーヤーの協力もあり大きな混乱はなかった。
- ・ラックで「頭を下げる」プレーに関してはバラツキがあり一貫性がなかった。ただ、急激な変更に対応するにはもう少し時間がほしかった。これは、指導者・プレーヤーも同じであると思う。
- ・判定に関してマスコミ等に取り上げられたが、よりよいレフリングを目指して研鑽をしていく。ただ、レフリーを批判する風潮があるとすれば非常に残念なことである。今一度、すべてのラグビー関係者が原点に戻って、レフリー対しての理解を深めていただきたい。

5. その他

- ・試合開始時刻の厳守
- ・交代や入れ替えに関して、再確認する。